

海外派遣留学生

留学報告書

韓国・漢陽大学

学部学科・研究科専攻	文理融合学部地域社会学科		留学時学年	2年
留 学 先	国	韓国	大学/機関	漢陽大学
期 間	2025年8月5日 ~ 2025年8月23日			
	短期		計1ヶ月	

[1] 参加したコースの時間数と時間割

・科目名（受講した科目を全てご記載ください）：

【時間割】

時 間	月	火	水	木	金	土	日
9時～12時50分	○	○	○	○	○	Free	Free
14時～16時50分	○	○	○	○	○	Free	Free

[2] クラス編成や授業方法について教えてください。

（クラス人数、国籍割合、担当の先生、授業方法、使用教材等）

- ・クラス人数：10人程度
- ・国籍割合：日本人のみ
- ・授業方法：韓国人の先生による教科書を主体とした授業
（教科書の種類や冊数はクラスの級により異なる）

[3] 課外活動や週末の過ごし方について教えてください。

週に2回は午後の授業が漢陽大学のメンター学生と交流する時間になっており、文化体験やフィールドトリップを一緒に行う。

放課後や週末は自由に行動できるが、テスト前は勉強や課題に打ち込む人が多かった。

[4] 派遣先でよく使った施設について教えてください。（図書館、学生会館、スポーツ施設等）

漢陽プラザ、漢陽大学駅

[5] 宿舎（寮やホームステイ）での生活について教えてください。

部屋：1 部屋 2 人で使用

様子：女子寮は2人で利用するが、各々の部屋に壁と扉があるため個室状態。シャワーとトイレ、玄関が2人の共用空間となっている。

[6] 留学中に楽しかったこと、苦労したことを教えてください。

- 楽しかったこと： 授業、メンター学生との交流、放課後や週末のソウル観光
- 苦労したこと： 先生が韓国語しか話せないため、まだ級の低いクラスの私にとっては授業中のわからない点を韓国語で説明することが難しかった。

[7] 留学の成果について教えてください

- 1) 語学力の向上： 韓国語の発音、読み方、簡単な単語がわかる状態で留学に参加したが、授業の中で、基礎的な文法や会話を多く取り扱い、簡単なコミュニケーションをとれるまでに成長した。
- 2) 専門知識の向上： 教科書で取り扱う会話文にもたくさんの韓国の文化や韓国ならではのものがあふれており、常に韓国文化に触れることができる。またメンター学生との交流の中で、韓国の若者言葉や略語を教えてもらった。
- 3) 自己成長など： 韓国語は発音が一つ違うだけで、違う意味になってしまうこともあるため、伝わらなかったらという不安があったが、意外と話してみたら伝わるものだと思えてからは、とにかく話してみる、聞いてみるというチャレンジ精神が鍛えられた。

[8] 来年度に留学を希望する学生へのアドバイスをお願いします！

とにかく少しでも興味がある方は行ってみてください！お金や人間関係の心配があると思いますが、そんな心配よりも自分の将来のために今何がしたいかを優先してください。それにこのプログラムに参加するほとんどの人が語学力向上を目指しているため、気が合わないことは少ないと思います。これを読んでくださっているあなたに素敵な経験と思い出ができますように。

[9] 留学に関する費用の総額について内訳を教えてください。

内訳			金額 (留学時の日本円)
1	短期留学者のみ	旅行会社に支払った経費(授業料、フライト代他)	15万円
2	中期・長期留学者のみ	フライト代	
3	中期・長期留学者のみ	滞在費(寮費など)	
4	教材費		0円
5	保険代		2万円
6	私生活における諸経費(食費・交通費・洗濯費等)		5万円
7	個人的な買い物		12万円
8	その他()		
9	留学に関する費用(1から8の合計)		34万円
10	受給した奨学金(奨学金名:)		
11	留学に関する費用総額(上記9から10を引いた額)		34万円

